

**全国の10代以上の男女対象「アフターコロナの手洗いに関する意識調査」
「変化を感じる」が約5割 「食事の前」「学校のトイレ」「外遊び後」での変化が顕著
自宅の手洗いでは4割近くが自動水栓の設置を求める結果に**

主に自動水栓関連装置の開発・製造・販売を行う株式会社バイタル（本社：長野県佐久市、代表取締役 土屋 智宏）は、全国の10代以上の男女を対象に「アフターコロナの手洗いに関する意識調査」をWEBアンケート方式で実施しました。

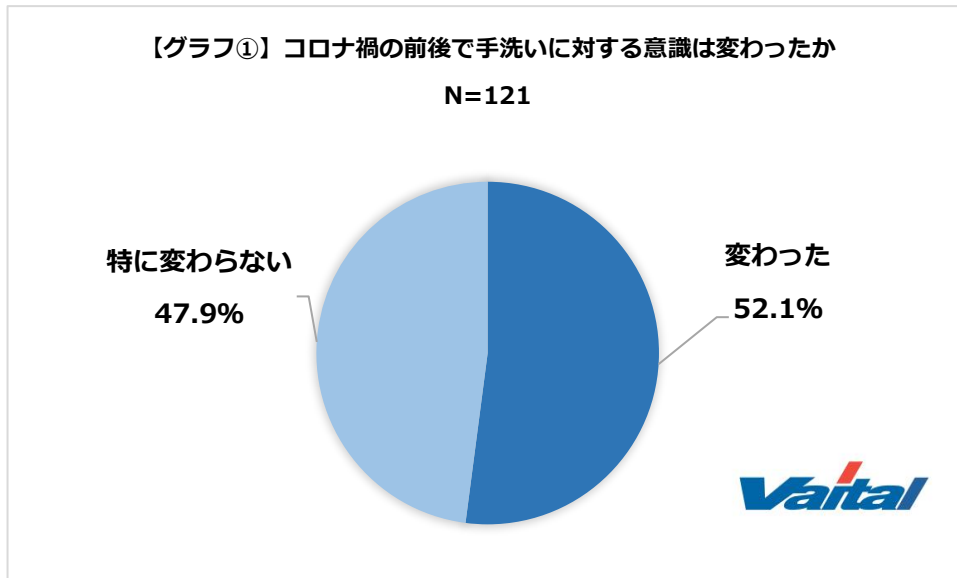
新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、手洗いに関する意識の変化をうかがえる調査結果となりました。報道の一資料として、ぜひご活用ください。

■調査結果

◆手洗いの意識や行動について

①手洗いの意識について、アフターコロナで5割以上の方が変化を感じている結果に。

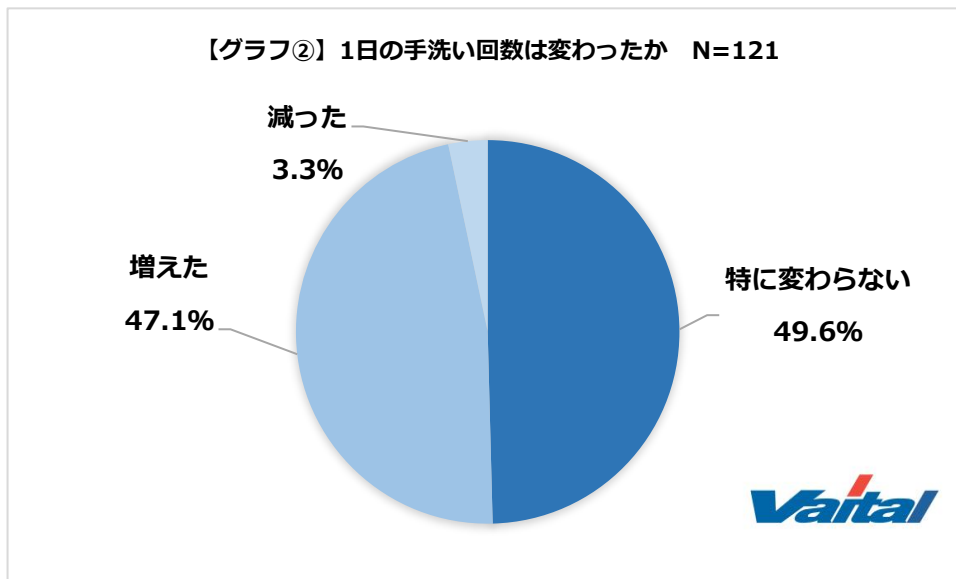
「コロナ禍の前後で手洗いに対する意識は変わりましたか？」と質問したところ、「変わった」が52.1%、「特に変わらない」が47.9%となり、「変わった」が過半数を越える結果となりました。（【グラフ①】ご参照）



②手洗いの回数について、アフターコロナで5割近くの方が増えたと回答。具体的には、食事の前や学校内のトイレ、外遊びの後等での手洗いが増加。

「1日の手洗い回数は変わりましたか？」と質問したところ、「特に変わらない」が49.6%、「増えた」が47.1%、「減った」が3.3%となり、約5割の方が手洗いの回数が増えたと回答しました。（【グラフ②】ご参照）

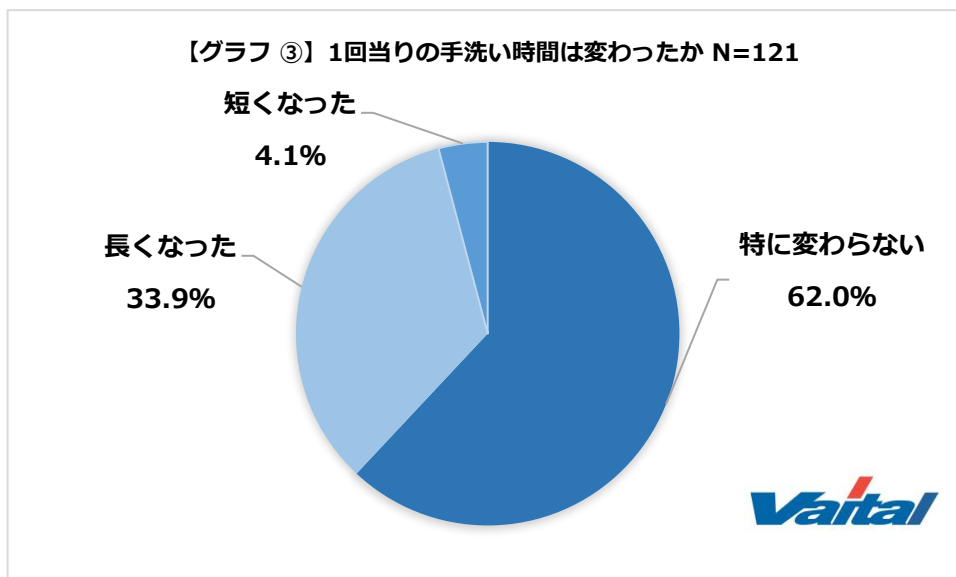
また、具体的にどのような場面で手洗いの回数が増えたかという質問には、「食事の前（73.7%）」、「学校内のトイレ（59.6%）」、「外遊びの後（57.9%）」が多くなっています。



③手洗いの時間について、アフターコロナで3割以上の方が長くなり、約2~3倍長くなったと回答。

「1日当りの手洗いの時間は変わりましたか？」と質問したところ、「特に変わらない」が62.0%、「長くなった」が33.9%、「短くなった」が4.1%となり、3割以上の方が手洗い時間が長くなったと回答しました。（【グラフ③】ご参照）

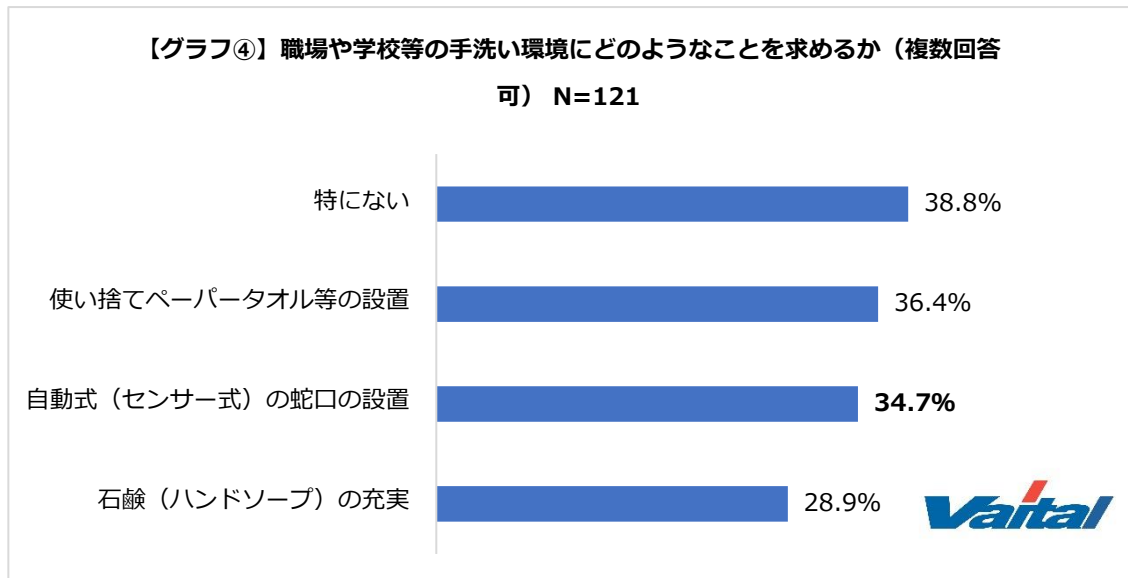
また、具体的に手洗いの時間がどれ位増えたかという質問には、「約2倍」が75.6%、「約3倍」が19.5%となっています。



◆手洗い環境について

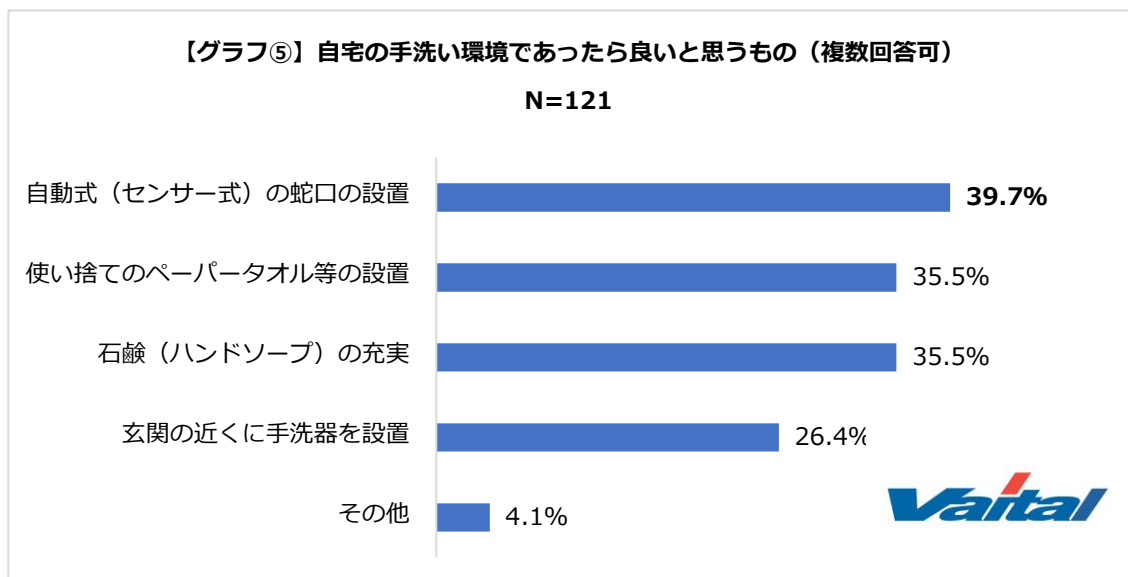
①職場や学校等での手洗いについて、使い捨てのペーパータオルや自動式（センサー式）の蛇口の設置を求めていると回答。

「職場や学校等の手洗い環境について、どのようなことを求めたいですか？」と質問したところ、「特にない」が38.8%、「使い捨てのペーパータオル等を設置してほしい」が36.4%、「自動式（センサー式）の蛇口を設置してほしい」が34.7%となりました。約4割近くの方が自動式（センサー式）の蛇口を設置してほしいと回答しています。（【グラフ④】ご参照）



②自宅での手洗いでは、4割近くの方が自動式（センサー式）の蛇口を設置したいと回答。

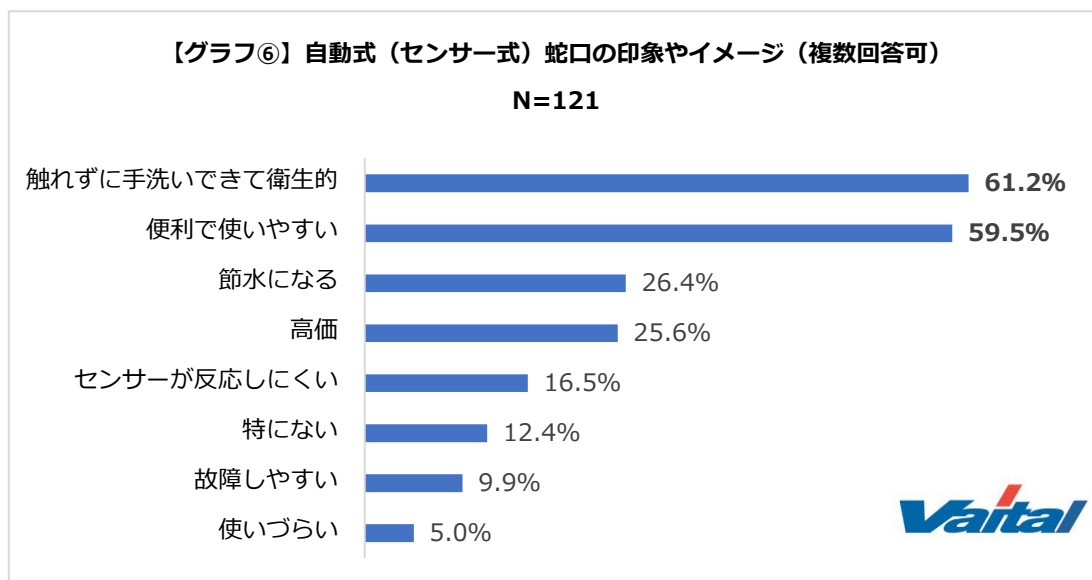
「ご自宅での手洗い環境にあったら良いと思うものは何ですか？」と質問したところ、「自動式（センサー式）の蛇口を設置したい」が最も多く39.7%、「石鹸（ハンドソープ）を充実させたい」と「使い捨てのペーパータオル等を設置したい」が各35.5%と、家庭での自動式（センサー式）の蛇口の設置への関心の高さがうかがえる結果となりました。（【グラフ⑤】ご参照）



◆自動式（センサー式）の蛇口について

自動式（センサー式）の蛇口について、半数以上の方が衛生的・便利という印象を持っていると回答。

「自動式（センサー式）の蛇口に、どのような印象をお持ちですか？」と質問したところ、「触れずに手洗いで衛生的」が61.2%、「便利で使いやすい」が最も多く59.5%と、自動式（センサー式）の蛇口には衛生面や便利さでの関心の高さがうかがえる結果となりました。（【グラフ⑥】ご参照）



【調査概要】

- ・調査名 : アフターコロナの手洗いに関する意識調査
- ・調査方法 : WEB アンケート方式で実施
- ・調査対象 : 全国の10代以上の男女
- ・有効回答数 : 121
- ・調査実施日 : 2024年1月22日～27日の6日間
- ・実施 : 株式会社バイタル

<報道関係者様へのお願い>

本リリースの引用・転載は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果の詳細なデータをご希望の方は広報事務局までお問合せください。また、手洗いに関する意識調査について、調査をしたいテーマ等ございましたら広報事務局までお問合せください。

■アンケート結果に対する当社広報部のコメント

アフターコロナで手洗いへの意識が大きく変化。感染対策や衛生管理において有効であると認識されている自動水栓が、一般家庭からも求められている傾向がうかがえました。

今回の調査では、コロナ禍を経て手洗いに関する消費者の意識が大きく変化したことがわかりました。特に、これまでは公共の場で使われることの多かった自動水栓が、ご自宅等で使うことを期待する声が増えてきたことは、自動水栓が感染対策や衛生管理に有効であるという意識が広まったことの現れだと感じています。

当社の現在の商品ラインナップでも各ご家庭に設置することはできますが、価格面や用途等で、より一般のご家庭向けに適した自動水栓の開発を重要なマーケットのひとつとして、これからも追求していきたいと思えます。

■当社の自動水栓のご紹介（一部）

節水と感染予防に強い！全国の手コンビニエンスストアでも活躍。

デルマンのスタンダードモデル「V-11」

<特長>

①自動水栓デルマンのスタンダード

前身の V-1 から続くロングセラー製品です。AC 式タイプなのでコンセントのある現場におすすめの製品です。

②全国コンビニエンス率 No.1（当社調べ）

セブンイレブンやローソン等、全国のコンビニエンスストアに標準採用されています。誰でも一度は使ったことがあるスタンダードモデルです。

③公共施設のあらゆるシーンで活躍

学校・スーパー・駅・サービスエリア・病院等、幅広いシーンで使用可能。公共施設のあらゆる水栓を自動化し感染予防を強化します。

④節水効果が高い

水跳ねが少なく節水効果の高い泡沫吐水（毎分約 3.5 リットル）。既存蛇口と比較すると大幅な水量削減に繋がります。

⑤防水仕様は IPX5

防水保護等級は、あらゆる方向から噴流水をかけても影響がない IPX5 の規格です。



業界初の電池寿命 6 年！壁付一体型コンパクトデザイン「Y-700」

<特長>

①業界初の電池寿命約 6 年

単 3 アルカリ電池×2 本で約 6 年の電池寿命により交換の手間が少なく経済的。競合他社と比較すると約 2~3 倍の電池寿命が持続します（付属のエボルタ乾電池で 100 回/日の場合）。

②防水仕様は IPX5

防水保護等級はあらゆる方向から噴流水をかけても問題のない IPX5 の規格です。

③後付けに最適なモデル

乾電池で駆動するため AC コンセントは不要です。小中学校や公共施設等の手洗い場を後付けで簡単に自動化。新設でもご使用いただけます。

④便利な手動ボタン付き

手動ボタン付きのため、水ためや洗い物時の連続吐水にも対応。



所要時間たった3分！簡単後付けの壁付自動水栓「HS-72」

<特長>

①手動ボタン付で水ためにも便利

先端センサによる自動式の他に手動ボタンがついて水ためにも便利です。

②18種類の豊富なバリエーション

水栓タイプ×サイズ×接続方向×吐水タイプの選び方次第で18種類のバリエーション。用途や環境に応じて型式を選択。

③約3分で簡単設置

断水不要で手動水栓のパイプ部の交換だけで簡単設置。自在水栓であれば既存の蛇口に約3分で取付可能。

④電池寿命が約10年

約10年の電池寿命により交換の手間が少なく経済的（付属のエボルタ乾電池で100回/日の場合）。

⑤自動止水時間を任意設定

オートストップ時間を任意で設定。手動吐水時の止め忘れ防止の機能として活躍（手動吐水の場合）。

⑥JIS規格適合品・防水仕様はIPX5

防水保護等級はあらゆる方向から噴流水をかけても問題のないIPX5の規格です。



【会社概要】

社名	：株式会社バイタル
代表	：土屋 智宏
本社	：長野県佐久市平賀 900
ホームページ	： https://vaital.co.jp/vaital/
TEL	：0267-62-4537
設立	：1971年6月
資本金	：10,000,000円
従業員数	：53名（2024年2月20日時点）
事業内容	：自動水栓デルマン事業、OEM事業

<本件に関する問い合わせ先>

株式会社バイタル 広報事務局

担当：佐久間（携帯：090-8106-9283）・杉村（070-1389-0175）

TEL:03-5411-0066 / FAX: 03-3401-7788 / メールアドレス：pr@netamoto.co.jp